

授業科目(ナンバリング)		日本語表現法(CB201)		担当教員	山内 美穂		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選必
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義では、大学生活やその後の社会生活に必要な日本語の表現力を身につけることに主眼を置いています。大学や社会生活では、場面に応じた適切な表現を理解し使用することが必要です。また、正しい敬語を使うことも求められます。さらに日本語が母語ではない人に日本語を教える際には、日本語の正誤判断の知識も必要です。それらのために必要な日本語力を養います。							⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	学習した知識を使い、何が適切な表現なのかを判断に、場面に応じた表現で文書を作成することができる。				課題	30%	
コミュニケーション力	社会の中で必要とされる適切な日本語の知識を活用し、場面に応じた適切な日本語でコミュニケーションできる。				小テスト 期末レポート	40% 30%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
学期中数回課される課題で30%、基本的に授業の終わりか始めに毎回LMS(manabaかQlearn)を使用して実施する小テストで40%、期末レポート30%で評価します。小テスト、課題は採点しフィードバックします。							
授業の概要							
履修者各自の日本語力を自覚し、適切な日本語力を養うため、毎回事前に教科書の中の課題に取り組み授業にのぞみます。授業では各テーマの解説と課題の解答を中心に進めます。日本語力向上のために、学期中は、基本的に授業の終わりか始めにLMS(manabaかQlearn)を使用して毎回小テストを、また、適宜課題を課します。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とします。							
教科書・参考書							
教科書：名古屋大学日本語研究会『スキルアップ！日本語力』,東京書籍 参考書：橋本修ほか編著『大学生のための日本語表現トレーニング』スキルアップ編,三省堂 指定図書：名古屋大学日本語研究会『スキルアップ！日本語力』,東京書籍							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本語力向上のために、予習と復習を必ずしてください。また毎回違うテーマで授業が進みますので、休まないようにしてください。休んだ時は、学習した箇所を独習し、分からない時は教員に質問しましょう。積極的な学習を望みます。日本語学の知見に基づいた日本語の面白さについても、毎回の授業の始めに紹介します。日本語表現に興味をもって取り組んでほしいです。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	導入	言語研究の流れを概観し、教科書の進め方を説明する。	予習：シラバスを確認すること
2	適切な日本語とは	日本語の適切さはどのようにして決まるのかを考える。	「適切な日本語」の予習 pp. 5-10. 「適切な日本語」の復習 pp. 10.
3	敬語の種類と使用	敬語の種類と使い分けについて学習する。	「敬語」の予習 pp. 11-1 「敬語」の復習～pp. 17.
4	注意すべき敬語	二重敬語・マニュアル敬語等間違いやすい敬語について学習する。	「間違いやすい敬語」の予習 pp. 18-23. 「間違いやすい敬語」の復習 pp. 23.
5	配慮を示す言葉	ポライトネスに留意した敬語を学習する。	「配慮表現」の予習 pp. 24-30. 「配慮表現」の復習 pp. 30.
6	品詞・活用の種類	日本語文法知識の基本を品詞と活用で確かめる。	「品詞活用」の予習 pp. 31-37. 「品詞活用」の復習 pp. 37.
7	日本語の「ゆれ」	ら抜きことば・レタスことば・さ入れことばを学習する。	「日本語のゆれ」の予習 pp. 38-43. 「日本語のゆれ」の復習 pp. 43.
8	ねじれ文・あいまい文	文のねじれ・ことばの係り受け・あいまい文を学習する。	「ねじれ文・あいまい文」の予習 pp. 44-49. 「ねじれ文・あいまい文」の復習 pp. 49.
9	接続語・指示語	論理的な文章作成に必要な接続語と指示語を学習する。	「接続語・指示語」の予習 pp. 50-56. 「接続語・指示語」の復習 pp. 56.
10	類義語・対義語	日本語の類義語・同義語・対義語の使い分けを学習する。	「類義語・対義語」の予習 pp. 57-63. 「類義語・対義語」の復習 pp. 63.
11	動詞の自他・視点	物事の描写法に欠かせない自他・視点を学習する。	「自動詞他動詞」の予習 pp. 64-69. 「自動詞他動詞」の復習 pp. 69.
12	文体・話し言葉と書き言葉	日本語表現の文体種の使い分けのポイントを学習する。	「文体」の予習 pp. 70-75. 「文体」の復習～pp. 75.
13	コロケーション	慣用的なことばのつながり「コロケーション」を学習する。	「慣用句」の復習 pp. 76-82. 「慣用句」の復習 pp. 82.
14	部首・音訓・熟語	漢字の部首と音読み・訓読み・熟語を学習する。	「熟語」の予習 pp. 83-89. 「熟語」の復習 pp. 89.
15	仮名遣い・送り仮名	漢字使用の難点である日本語の仮名遣い・送り仮名を学習する。	「仮名」の予習 pp. 90-95 「仮名」の復習 pp. 95. 総復習 pp. 97-104.